

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	堤根余熱利用市民施設	評価対象年度	平成21年度
事業者名	・事業者名 株式会社明治スポーツプラザ ・代表者名 石原 良太郎 ・住所 川崎市幸区堀川町580 ソリッドスクエア西館5階	評価者	減量推進課長
指定期間	平成21年4月1日～平成26年3月31日	所管課	環境局生活環境部減量推進課

2. 事業実績

利用実績	平成20年度に比べ、プール利用者は若干減少したものの、高齢者向け休養施設の利用者はカラオケ機器の更新をしたこともあり約5,000人増加している。平成20年度同様、12～3月は施設改修に伴う工事で温水プールが休館している。プール利用者減は、新型インフルエンザ等の影響があったと推測される。
収支実績	水泳用品販売場所の拡張により物品販売事業収入が増加した。また、水道光熱費の縮減により、黒字収支を達成した。(堤根余熱利用市民施設別紙資料参照)
サービス向上の取組	自主的に行っているモニタリングで、営業時間・料金・プログラム・利用者のニーズを把握し、反映させている。平成21年度はニーズの多いアクアビクスの1クラス増設や、子供向け水泳教室を拡充するなど、サービス向上の取り組みが見られる。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	利用者満足度	利用者のニーズ等を捉えるための具体的方策を実施しているか	14	4	11.2
		利用者ニーズ等を適切に分析しているか。			
		意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)			
	事業成果	事業実施における自己評価を行っているか。 当初の事業目的を達成することができたか	8	3	4.8
(評価の理由) アンケート箱の設置や、指定管理者独自に行っている自主モニタリングにより、ニーズを把握している。平成21年度は高齢者向け休養施設のカラオケ機器の更新や、アクアビクスのクラス増加を行うなど、意見を反映させている。					
収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	10	4	8
		支出に見合う事業が行われているか。			
		効率的な執行等、経費縮減の具体的な取組は為されたか			
	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	4	4	3.2
適切な金銭管理・会計手続	指定管理経費とその他業務に係る経理を区分し、適切に管理しているか。	6	3	3.6	
	事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
(評価の理由) 計画以上の収入が得られている。物品販売ブース拡張による物品販売事業収入が増えており、また節水システムを導入して水道光熱費を削減するなど適正な収支確保のための努力により、黒字を達成した。					
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	7	4	5.6
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	業務改善によるサービス向上	業務の遂行にあたって、現状分析、課題把握に取り組んでいるか。	5	4	4
		業務改善が必要な場合に、改善策の検討と実施が行われているか			
	利用者の意見・要望への対応	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	5	4	4
利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか					
(評価の理由) 仕様書や計画書のとおり、水泳教室や水泳用品販売、情報提供を行っている。教室や休館日等をホームページで随時市民に最新の情報を提供していた。施設内の情報コーナー内では、堤根処理センターからの余熱の有効利用に関する情報提供を行った。子供対象の水泳教室を拡充するなど、ニーズを事業に反映させる取り組みを行っている点は評価できる。					

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	8	3	4.8
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか	2	3	1.2
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修・会議等が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか			
	安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等) 緊急時に警察や消防など関係機関と速やかに連携が図れるよう、連絡体制を構築しているか。	5	4	4
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	4	3	2.4
	職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか			
	環境負荷の軽減	環境に配慮した調達や業務実施が行われているか	2	3	1.2
(評価の理由) 従業員全員にCPR(心肺蘇生法)研修を行い、適切資格を持った者を配置している。緊急マニュアルを作成して有事の対応ができるよう備えるなど、安心安全への取り組みを行っている点は評価できる。さらに、月に1回の休館日には安全や接客の従業員研修を行うことにより、担当者のスキルアップを図っている。また、急病者が発生した際には迅速な救助活動を行い、救急等関連機関への要請を実施し、また市及び関係者への報告など、対応も適宜適切にはかられたことは高く評価できる。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	20	3	12
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。			
	清掃業務	施設内の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか			
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	植栽管理	植栽等の維持管理を適切に実施しているか。			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか			
	(評価の理由) 日定期点検を行い、施設点検委託先とは常に連絡を取り早期対応しており、適切な実施が行なわれている。また、施設スタッフと設備管理者双方で業務日誌を作成しており、管理についても適切である。				

4. 総合評価

評価点合計	70	評価ランク	C
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

今後もCPR(心肺蘇生法)、MFA(メディックファーストエイド/応急救護手当)等の適切な資格を持った従業員の配置や緊急対応マニュアルを作成するなど利用者の安全に配慮した管理運営を継続することを望む。また、子供用の水泳教室の新規開催や無料アクアビクス教室増設など、利用者のニーズを事業に反映させる取り組みをしている点は評価できる。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

新規来場者を獲得するような企画運営が必要である。また、近隣地域のネットワークを生かした地域連携や、意見交換の場を設け、利用者サービスの向上に反映させるような取り組みをしていくことが望ましい。

堤根余熱利用市民施設別紙資料

○ 運営日数

温水プール・・・237日（前年度 231日）

老人休養施設・・・339日（前年度 339日）

堤根熱利用市民施設利用者実績

利用者人数

単位：人

	平成21年度	平成20年度	前年対比
温水プール	91,063	92,361	△1,298
老人休養施設	44,444	39,502	4,942
計	135,507	13,1863	3,644

堤根余熱利用市民施設収支決算				単位：円	
収入	平成21年度		平成20年度		
	①事業活動収入		①事業活動収入		
	指定管理収入	40,382,000	指定管理収入	46,084,000	
	利用料金収入	16,530,334	利用料金収入	15,835,875	
	その他収入	6,633,977	その他収入	936,439	
	②自主事業収入	0	②自主事業収入	1,167,143	
合計	①+②	63,546,311	①+②	64,023,457	

支出	平成21年度		平成20年度		
	③事業活動支出		③事業活動支出		
	④自主事業支出	0	④自主事業支出	528,283	
合計	③+④	63,358,862	③+④	67,085,763	

	H21 収支差額	187,449	H20 収支差額	▲ 3,062,306
--	----------	---------	----------	-------------